

小学校道徳科において自己の変容や成長に気付く児童の育成
— スタディ・ログ「DARS」を活用した振り返り活動を通して —

令和5年度 前橋長期研修研究員
前橋市立大利根小学校 樺澤 裕美

研究の概要

研究のねらい

学習履歴(スタディ・ログ)として作成した「DARS (Doutoku Accumulation (蓄積) Review (評価) Sheet)」を活用した振り返り活動を行うことで、自己の変容や成長に気付くことができるようになるか、実践を通して明らかにする。

＜目指す児童の姿＞
児童が自らの学びを振り返りながら、自己の変容や成長に気付く姿

手立て「DARS」を活用した振り返り活動

「DARS」を基に、
「学び方」や「道徳科での学び」について
振り返る！
学期末や学年末に
おける振り返り活動



道徳は、自分を見つめ直す大切な時間になった！

道徳の授業を通して、より相手のことを考えて行動できるようになった！

スタディ・ログ「DARS」

一年間の振り返りを一覧して可視化できるシート

かけがいのない いのちを尊重する 心	自然の偉大さを知り 自然環境を大切にす る心	美しいものや 変化の多い世の中 に生きていく心	よりよく生きようと する人間として 生きぬく心を逞しく する心	自由を大切に し自律的に責任 を負う心	誠実に生きる 心	自分の生活を 見つめ直す心	場所を定め 責任を担う心	より良い社会 を築く心	異文化を尊重し ようとする心		
2	10	11	1	12	15	22	4	20	28		
24			35	31		33					
命や自然 のこと					自分の こと						
みんなの こと					相手の こと						
19	34	21	27	14	32	26		30	29		
6	17	9	23	16	7	25	5	8	3	13	18
自然の偉大 さを大切に し、自然 環境を尊 敬する 心	自然の偉 大さを重 敬し、自 然環境を 大切にす る心	自然の偉 大さを重 敬し、自 然環境を 大切にす る心	自然の偉 大さを重 敬し、自 然環境を 大切にす る心	自然の偉 大さを重 敬し、自 然環境を 大切にす る心	自然の偉 大さを重 敬し、自 然環境を 大切にす る心	自然の偉 大さを重 敬し、自 然環境を 大切にす る心	自然の偉 大さを重 敬し、自 然環境を 大切にす る心	自然の偉 大さを重 敬し、自 然環境を 大切にす る心	自然の偉 大さを重 敬し、自 然環境を 大切にす る心	自然の偉 大さを重 敬し、自 然環境を 大切にす る心	

道徳科の
「学び方」を学ぶ！

道徳科
オリエン
テーション

色分けした
「四つの視点」

内容項目を
「〇〇の心」※1
と表記

学習者用端末で
いつでも閲覧

道徳ノートの
振り返りの記述
を蓄積

テーマを掲げた連続的な学びを振り返り、
「DARS」に蓄積する！

ユニット学習※2における
振り返り活動

自分との関わりで学びを振り返り、
「DARS」に蓄積する！

一単位時間における
振り返り活動

【児童の実態】
・道徳科は、何をどのように学ぶのか分からない。
・自分との関わりで学びを振り返る児童が少ない。
・道徳ノートを学びの蓄積として捉えていない。

【指導上の課題】
・何をどのように振り返るのか、児童が自らの学びを振り返るための工夫が必要である。

※1: 安井政樹 (2023). 「特別の教科道徳 指導と評価支援システム」 東洋館出版社
※2: 田沼茂紀 (2017). 「指導と評価の一体化を実現する道徳科カリキュラム・マネジメント 小学校編」 学事出版株式会社

実践の概要

手立て「DARS」を活用した振り返り活動

「DARS」を作成し、三つの振り返り活動を位置付けました。

※道徳科オリエンテーションについては、年度当初に行うことが望ましいが、本実践では、二学期の始めに行いました。

特別の教科 道徳 小学校 第五学年

教材名 「真由、班長になる」 C-（16） よりよい学校生活、集団生活の充実
（日本文教出版） 「名前のない手紙」 C-（13） 公正、公平、社会正義
「折れたタワー」 B-（11） 相互理解、寛容

9月

10月

11月

12月

道徳科
オリエンテーション

一単位時間における振り返り活動

C-（16）
よりよい学校生活、
集団生活の充実

C-（13）
公正、公平、
社会正義

B-（11）
相互理解、
寛容

ユニット学習
のまとめ

ユニットテーマ「いじめについて考えよう」

ユニット学習における
振り返り活動

学期末における
振り返り活動

道徳科

オリエンテーション

児童が道徳科の学び方について見通しをもてるようにしました。

四つの視点

友達や周りの人たちと一緒に生活していくために大切な「心」について考えていきましょう

「四つの窓」のそれぞれに、どんな「心」があるか見ていきましょう



学び方と約束

友達の考えをしっかりと聞きましよう

自分の気持ちや考えを、友達に伝えましよう

- ①気付く
なんでかな どうして大切なのかな
- ②考える・深める
私は～だと思ふよ そういふ考え方もあるんだね
- ③見つめる・生かす
〇〇って大切なんだな これからは〇〇を大切にしていきたいな

交流の演習

ば、可能性は無限大

あ あへ、なるほど。 いいね！ う～ん、どうして？ ええ！ ええ！

「協力すれ」ばだと思ふ



「DARS」の説明

道徳ノートに書いた振り返りを「DARS」に蓄積していきます。それぞれの「心」について自分がどのように考えたか、振り返ることができますね。家族に学習した「心」について話すこともできます。



一単位時間における振り返り活動

「折れたタワー」での実践

導入

前時を振り返り、本時に学習する「心」を確認し、問題意識をもてるようにしました。

「DARSを見てみましょう。「広い心」について考えていきましょう。「広い心」をもっている人はどんな人だと思ひますか。」



「広い心」って
どういう心だろう

展開

道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度振り返る過程を大切にしました。

【発問の工夫】道徳的価値のよさや意義を直接問う

許すことができたひろしは広い心をもっていると言えますか。広い心をもっている人はどんな考え方ができる人でしょう。

広い心をもつよさは何だろう

【板書の工夫】対比できるように分けて板書する



終末

教材から離れて自分の体験等を想起しながら、学んだ道徳的価値について自分の生活と結び付けて振り返れるようにしました。

振り返りの視点

- 今までの自分（今までは（も）、～）
- 今日の授業（今日の学習では、～）
＊気付いたことや学んだこと、考えたこと
- これからの自分（これからは、～）
＊大切にしたい考え方
あなたは、〇〇するために、どんなことをしていきたいですか。そのように考えたのはなぜですか。



- ・ 今までは、広い心をもっている人はただ優しい人と思っていた。
- ・ 今日の授業で、ただ優しいではなく、相手のことを考え、これからのことを考えて、安心して生活できる方を選んだりして後のことも考えられる人のことだと思いました。
- ・ これからは、自分も広い心ということを理解しながら生活していきたいです。

（児童の振り返り）



振り返りを蓄積したDARS

ユニット学習における 振り返り活動

児童がより自分事として考えられるようにするために、児童の問題意識に基づくテーマについて、それぞれの内容項目と関連付けて授業を行いました。

テーマを設定し、テーマに即した三つの教材を組み合わせました。「ユニット学習のまとめの時間」では、「DARS」を見返しながら、もう一度テーマについて考える時間を設けました。

テーマ いじめについて考えよう

- 1 時間目 「よりよい学校生活、
集団生活の充実」
- 2 時間目 「公正、公平、社会正義」
- 3 時間目 「相互理解、寛容」
- 4 時間目 ユニット学習のまとめ、振り返り

テーマ いじめについて考えよう

【ユニット学習前の児童の記述】

いじめている人には絶対になりたくない。できればいじめを止めてあげたい。

【ユニット学習後の記述】

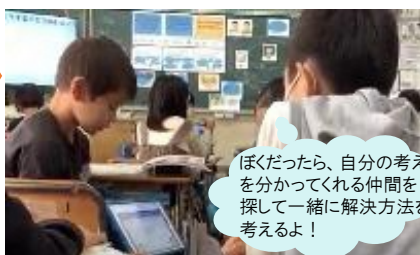
いじめはいけないうことだということが本当によく分かった。またさいなこと
いじめになるということも理解できた。いじめが起きたときには、観衆はもち
ろん傍観者にもなりたくない。仲裁者となっていじめを止めたい。これか
らは小さなことを根にもたないで、広い心で仲がよいクラス、学年、学校
にしていきたい。

テーマについて、様々な角度から捉えて考えていたり、登場人物の行
動をこれからの自分の生活に生かそうとしたりしている。

三つの教材の内容を踏まえ、登場人物
を「いじめの四層構造」の中に位置付け
る。



左図を架空のクラスと仮定し、想定
されるいじめに対し、自分だったらど
うするか考える。



「DARS」を見返しながら、テーマ
について自分の考えをまとめる。



この時間に、今まで学んできたことを総復習することで、学んだことがどれだけ大切だったかを思い起こせました。
道徳では人間関係で大切なことを学べます。時々振り返ってみて学んだことを生かしているか考えてみたいと思いました。
(「ユニット学習のまとめの時間」後の児童の感想)

学期末や学年末における 振り返り活動

「DARS」を基に、学び方や学習した道徳科での学びが生活の中でどのように生か
されているか、意識したり成長したりした心について振り返る時間を設けました。

学期末の振り返り活動の流れ

- ① 二学期始めに書いた自分の目標
に照らし合わせ、キャリアパス
ポートの「なりたい自分に近づ
けたか」について振り返る。
- ② 道徳科を含めた二学期の様々な
学習や生活について振り返る。
- ③ 「DARS」を見返しながら、自
分がどのような「心」について
意識して生活できたか、自分が
成長したなと思うことはどんな
ことかなど道徳科の学習を振り
返る。
- ④ キャリアパスポートの「自分が
成長したこと」を振り返る。

キャリアパスポート

① 〇なりたに自分だけ近づけたか、ふりかえりましょう。

(学習面)	テストとか、よく見直しをした。
(生活面)	友達とよく遊んだりできた。
(家庭・地域)	行事にも参加でき、交流もした。 Good!
(習い事・資格)	ピアノを毎日弾くことができた。

2学期、どのくらいできたか、〇をつけましょう。	よくできた	できた	すこしできた	あまりできなかった
①友達や家の話を聞くと、その人の考えや気持ちを考えることができたか。		○		
②自分の考えや気持ちを、相手にわかりやすく伝えようと思えたか。	○			
③自分の感情を抑えたり、自分の短所に気付いたりして、自分をよりよく考えようと思えたか。			○	
④委員会、係、当番活動などで、自分から仕事を見つ、力を合わせて行動することができたか。				○
⑤好きでないことや苦手なことも、自分から進んで取り組むことができたか。				○
⑥調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたり、誰かに質問したりすることができたか。				○
⑦何かをするとき、計画を立てて進めることができたか。				○
⑧自分の夢や目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫することができたか。				○

④ 2学期、自分が成長したと感じること
委員会や当番活動など、
えいきょうを受けた出来事
運動会などの行事
あんなに楽しかったこと、
顔もいざも増えまして今3学期
がんばろう!

二学期の道徳の振り返り



【道徳科の学び方について振り返る】
 ☆道徳科で、一生けん命に考えることができましたか。(○ ○ △)
 ☆道徳科で、「自分だったら」と思いながら、考えましたか。(○ ○ △)
 ☆道徳科で、自分の考えを伝えられましたか。(○ ○ △)
 ☆道徳科で、友達や先生の考えをよく聞きましたか。(○ ○ △)
 ☆道徳科で、友達の意見を聞いて、考えが広がったり、
 変わったり、深まったりしましたか。(○ ○ △)
 ○道徳科の学び方で、できるようになったこと、
 頑張ったことをよく書きましょう。

去年よりも、友達と自分の考え、両方をそろえて、
うでできるようになったと思う。また、やさしい
いじめについて、いろいろ知っていたと思うし、
他人の考えもきけるようになった。

【学習した心について振り返る】
 ☆道徳科の授業で、学んだことを思い出したり、生活に
生かしたりしましたか。(○ ○ △)
 ○DARSを見て、自分が成長したと思うことを書きましょう。
 (生活の中でできるようになったこと、大切にしている考え方 など)

自分が、なかなか気づけなかったことを、連
日の授業で気づかせてくれた。自分も周りも考
えがうけつて、何が大切かと思ったり、いや
と思うことがあるのはおなじで、少しでも他人の
長所を見つける。

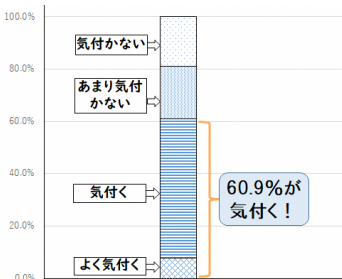
それは、どんなに頑張ってもDARSを見ながら自分の反省をしよう
他人と関わり、楽しく学ぶ心

研究のまとめ

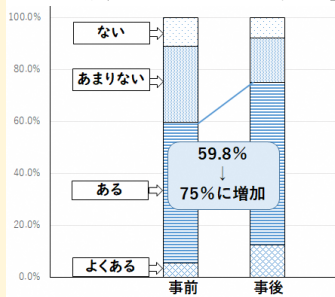
自らの学びを振り返りながら、自己の変容や成長に気付く児童の姿に近づくことができたか以下の方法で検証しました。

児童アンケートの結果

Q1 「DARSを見返すと自分の成長に気付くか」



Q2 「道徳の授業を通して、自分が成長したと思うことがあるか」



【Q2の理由】

「よくある・ある」の理由

- ・友達の気持ちを考えて発言や行動ができるようになったから。
- ・人に優しくできるようになったと言われたから。
- ・道徳の授業で学んだことを生活に生かしたから。

「ない」の理由

- ・わからない、成長した心あたりがないから。

DARSについての自由記述(回答人数64人)

・後からいつでも見返せる	→ 操作性
・貼るのが簡単	
・自分の考えをまとめて見られる	→ 視認性・振り返りやすさ
・過去の振り返りが4種類ごとに分かりやすく見えた	
・自分のことがよく分かった	→ 自己の気づきや成長
・自分の成長や足りないところに気付いた	
・四つの窓がうまくいっているのが面白い	
・大事なことを思い出せる	→ その他
・今まで学習した全てがつまっていて、思い出のようになった	
・生かしていない、あまり見ていない	

「DARS」について、肯定的な回答をしている児童が55名いました。一方、9名が「活用できていない」と回答しました。この9名は、Q1、2において否定的に回答していることが分かりました。「DARS」を見返すことの意味やよさを感じられるような支援が必要であると考えます。

教員の事後アンケートの記述

- ・児童も「四つの視点」によって「内容項目」を分かりやすく振り返ることができた。
- ・自分が学習してきたことが目に見えて分かるので、達成感を感じるし、すぐに振り返ることができた。
- ・「DARS」は、一年間でどんなことについて考えを深めてきたのかが分かるので良いと思った。
- ・「DARS」は、道徳以外でも活用できればさらに有効であると思う。
- ・道徳科オリエンテーションにより、道徳科で何を学ぶかが明確になったことで、児童の学習意欲が高まった。
- ・ちょうど良い時期に、児童の実態に即した内容をテーマにしたユニット学習を行ったことで、子供たちも自分事として考え、友達を大切にできる児童が増えていくことを実感した。
- ・一単位時間の授業の中で、振り返り後に「DARS」に蓄積する時間を確保することが難しい。

・「DARS」によって、児童の変容や成長が見られたという記述が多く、一定の成果があったと考えます。さらに、児童が日常生活とつなげて活用できるようにする工夫が必要であると考えます。

抽出児の変容

「道徳科の授業を通して、自分が成長したと思うことがあるか」の設問で、実践前には「あまりない」と回答したA児の変容について示します。

アンケート結果

Q1 「DARSを見返すと自分の成長に気付くか」

「気付く」

理由「最初と最後を比べると自分の意見が増えていけるから」

Q2 「道徳の授業を通して、自分が成長したと思うことがあるか」

事前 「あまりない」

理由「ちょっとだけ変わったこともあったけれど、どちらかと言うとあまりない」

事後 「ある」

理由「今までの自分の考えが改まったから」

振り返り活動	A児の記述内容
オリエンテーション	今までは、道徳は生かせることが自分にはなかった。今日の授業で、道徳で窓が4個もあるのが分かった。これからは、次から生かせるように自分の考えを考え直す。
一単位時間の学習後	今までは、ほとんど仲がよい人と話していた。今日の授業で、あまり話していない人と話せば、仲よくなっていくと思った。これからは、色々な人と話して仲よくなりたいと思った。①
ユニット学習前	【いじめについてどのように考えているか】人の気持ちを考えないで相手のことを勝手に傷つけているからいじめが起こる。
ユニット学習後	今までは、いじめについてあまり考えなかった。いじめについて学習して、それぞれ違う考えがあったから、いじめのことがもっと詳しく分かるようになった。吉野さんやまさるのようないじめをなくせるようにしたい。これからはいじめがないように自分が思っていることを友達に伝えられるようにしていきたい。
二学期末	私は、友達の意見や自分の意見を大切に話して話した。そして、友達の意見を聞くときに、しっかりと反応ができた。友達の意見を参考に自分の考えが広がった。②
二学期末	周りの人に親切にして、お互いにたより合うようにする。自分が今までできなかったことでも、友達がアドバイスなどをしてくれたおかげで、少しでもできるようになった。自分も勉強を教えてあげたりして、親切にできた。③
二学期末	相手の立場に立ち、親切にする心 ④

- ・一単位時間の振り返りを「振り返りの視点」に沿って行ったことで、児童が学習内容を自分事として考えることができた。①
- ・道徳科の授業において、どのように学んできたかを振り返る記述が見られました。②
- ・二学期末の振り返りで、自分の成長を「人との関わり」において感じるすることができました。③④

成果と課題

○「DARS」を用いて振り返り活動を行ったことは、自分との関わりで記述した振り返りを蓄積でき、児童が自分の学習状況を把握しやすくなり、自己の変容や成長の気づきにつながった。また、道徳を学ぶ意義の理解にもつながった。

◇「DARS」の活用方法を工夫し、学校だけではなく、家庭との連携を図り、児童が道徳科での学びを日常生活につなげることができるようになる。

◇行事や他教科との関連を図るなど、意図的に「DARS」の活用場面を設定していく必要がある。